



カ-ラ-ス~

なぜ うるさく 鳴くの？

なぜ 人を おそうの？

なぜ そんなに 増えたの？



カラスを知る

カラスは賢い野生動物です。わけもなく鳴いたりおそったりすることはありません。また、カラスにとって都合の良い条件がなければ増えることもありません。

カラスの被害をなくすにはカラスの生態を正しく理解して、それに応じた対策が必要です。

たくさんの
なぜに
バシッと
こたえます！



なぜこんなに増えたの？

エサ(生ごみ)が
いっぱいあるからです



©Nagashima

その1 カラスにとって生ごみは簡単に手に入る美味しく栄養価の高いエサです。おいしいエサの味を覚えたカラスは次々と市街地に集まり、増えていきました。

その2 人に慣れたカラスは、エサ場の近くに巣を作るようになりました。ヒナは簡単にえさが手にはいるので生存率も高く市街地のカラスは増え続けています。



カラスを減らすには

生ごみを減らす

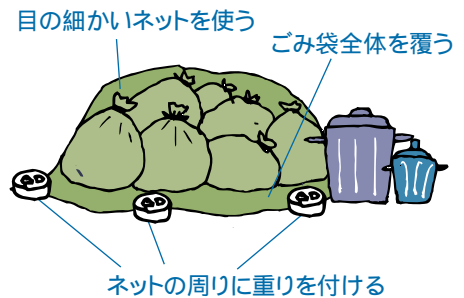
生ごみ(カラスのエサ)を減らすことが一番です。分別収集や食べ物を使い切るようにしてごみを減らしていきましょう。



集積場所に散乱防止ネットを使う

生ごみの集積場所には全体を覆う用にネットをかけます。ふた付き容器(ふたはしっかり閉める)で出すのも効果的です。

正しいネットの使い方



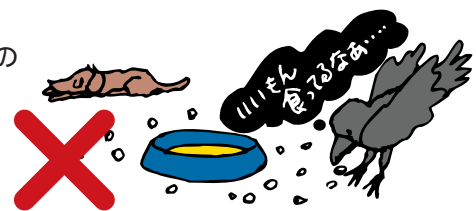
常に工夫をし続ける

生ごみの集積場所にカラスを寄せ付けないように光るCD、目玉模様などをぶら下げる方法があります。しかし慣れてしまうと逆に生ごみがある目印にもなりかねません。カラスが慣れる前に次の方法を見つけることが必要です。



野外にペットのエサを放置しない・鳩などにエサをやらない

ペットのエサやドバトなどのエサが生ごみ同様、カラスのエサになりかねません。



野生動物との共存にご協力をお願いします

ドバトなどにエサを与える光景を見かけますが、野生動物へのエサやりは自然の中で生きていく本能を奪い、特定の動物だけがが増えて、自然のバランスを崩すこととなります。また、エサを与えられた動物は、人を恐れなくなり、結果として人とトラブルにもなります。野生動物は、本来自然の中で食べものを探します。野生動物と共存していくためにも、エサを与えないように御協力をお願いします。



なぜおそうの？うるさく鳴くの？

ヒナを守るためです



その1 繁殖期のカラスはヒナを守るために外敵に威嚇攻撃をすることがあります。カラスの繁殖期は3月下旬から6.7月までです。

その2 巣に近づくと攻撃の前に大きな声で鳴いて威嚇をします。エサ(ごみ集積場所)に近い街路樹や鉄塔などに巣作りをしています。

攻撃されないように威嚇のサインを見逃さない

3月から7月までの繁殖期は巣やヒナに近づかない

カラスからの攻撃をさけるためには**威嚇のサイン**(右)を見逃さず巣やヒナ(巣立ちヒナ)に近づかないことが大切です。巣や巣立ちヒナのそばを通るときは、親鳥を刺激しないようにできるだけ離れて静かに通らしましょう。

威嚇のサイン



もしも攻撃されてしまったら

危険です! 次の2つを守ってその場を離れてください

注 秋や冬でもまれに威嚇してくる場合があります。なお万が一攻撃されたら、同じように防いでください

1 **すぐに静かに逃げる**
近くに巣やヒナがいる可能性があるため、声など上げずにすぐにその場を離れてください。



2 **後頭部を保護する**
カラスは人の後ろから攻撃しますので、鞆などで後頭部を保護して下さい。



大きさは普通のカラス並みの 巣立ちヒナに注意!!

巣だったばかりのヒナ(巣立ちヒナ)は、口の中が赤っぱいままですが、大きさは親鳥とほぼ同じです。巣から出て1~2週間ほど巣の周りにいます。飛ぶ力が弱く庭先や道路に降りてしまうことがあります。ほとんどの場合親鳥が誘導し、半日~1日程で移動しますが、人が近寄ると親鳥が隠れてしまうので迷子のように見えてしまったり、逆に、親鳥が人を激しく威嚇・攻撃してくる場合もあります。離れて見守りましょう。

いろいろな疑問に 答えします

©Nagashima

Q1 カラスはどんな種類があって、繁殖期はいつ？

横浜にはハシブトガラスとハシボソガラスの2種類がいます。特に近年ハシブトガラスが増えています

ハシブトガラス

くちばしが太く、額が出っ張っている。

ハシボソガラスより大柄

「カア、カア」と澄んでいる

移動は跳ねることが多く、樹上にいることが多い



ハシボソガラス

くちばしが細めで額がなだらか

「ガア、ガア」と濁っている

2足で歩くことが多く、よく地上に降りる



繁殖は

3月下旬頃巣作りを始め、4・5月に卵を産み、6・7月頃1～3羽が巣立ちます。エサの近くの街路樹や鉄塔などに巣を作ります。

親鳥が卵を暖める期間：約20日

巣でヒナを育てる期間：30～35日

Q2 カラスを捕まえて処分してもいいの？

「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」によって、すべての野生動物はかつてに捕獲や殺傷はできません。しかし、人に危害を加えたり農作物に被害がある場合は、横浜市長の許可を得て捕獲できます。卵やヒナも同様です。



Q3 ケガしたカラスを助けたいんだけど？

ケガをした野生動物は動物園に運搬していただいて保護しますが、カラスとドバトの受入れはしていません。助けたい気持ちは大切ですが、手をかさず、自然にまかせてください。



横浜市として

市としてのカラス対策についてお話しさせていただきます。

近年、たくさんのカラス被害が報告されています。市としても捕獲を含めきちんと対策をしなければと、いろいろな分野の方から意見を伺い、検討を進めてきました。

ところがカラスは行動範囲が広く、今いるカラスを捕獲してもエサとなる生ゴミがなくならない限りあちらこちらから新顔が集まってくるのです。また捕獲にはどうしても危険が伴います。

そこで今のところ、基本のエサ対策(生ゴミをカラスのエサにしない)を中心に減らしていく方針をとることにしています。その他、①取り組みの紹介②看板の設置③巣落としの補助などを通して対策を行っていきます。今後もし引き続き、ごみ対策を含めみなさんの協力をお願いいたします。

①横浜市の取り組みを紹介

詳しくは、環境創造局 公園緑地部 動物園課 にお問い合わせください。

②注意看板の貸し出し

カラスの巣が近くにあることを知らせる注意看板を貸出します。

③巣落としの補助(民有地を対象)

威嚇行為の原因となっている巣を除去する費用の一部を補助します(自己負担分あり)。

(※街路樹や公園などの公共施設や電柱などに巣がある場合は、それぞれの管理者に御相談ください。)

・巣立ちヒナの捕獲

巣立ったばかりのヒナ(巣立ちヒナ)を守るため、周辺住民等を親鳥が威嚇や攻撃することがあります。威嚇等が継続して危険な場合は、やむを得ない措置として威嚇行為の原因となっているヒナを捕獲します。



●このリーフレットに関するお問い合わせは

環境創造局 公園緑地部 動物園課

TEL 671-3448 FAX 633-9171

参考：自治体担当者のためのカラス対策マニュアル(環境省自然環境局) 協力：(財)日本野鳥の会

横浜市環境創造局 公園緑地部 動物園課

〒231-0017 横浜市中区港町1丁目1番地 TEL:045-671-4106 FAX:045-633-9171
e-mail : ks-yasei@city.yokohama.jp 平成18年5月発行



横浜市広報印刷物登録第180100号 類別・分類C-KJ110